

事業コード	H24-建-新-04		区 分	国庫補助	県単独
事業名	地方道路交付金事業費(改築)		部局課室名	建設部 道路課	
事業種別	一次改築(バイパス)		班 名	調整・企画管理班 (tel) 018-860-2485	
路線名等	国道108号		担当課長名	阿部喜巳	
箇所名	由利本荘市鳥海町矢ノ本		担当者名	佐藤秀治	
総合計画との関連	政策コード	17	政 策 名	新たな生活圏の創造	
	施策コード	04	施 策 名	地域内交通の整備	
	指標コード	01	施策目標(指標)名	県道の整備推進	

1. 事業の概要

事業期間	H25 ~ H31 (7年)		総事業費	13.0億円	国庫補助率	7/10	
事業規模	延長 L=1,650m 幅員 W=6.5(9.5)m (1.5-3.25-3.25-1.5) 一部歩道あり						
事業の立案に至る背景	本路線は宮城県石巻市～湯沢市～由利本荘市と太平洋側から日本海側を結ぶ重要な国道であり、由利組合総合病院等の医療機関や鳥海山等の地域の観光資源へのアクセス道路等でもある。さらに、第二次緊急輸送道路としての位置付けもある。しかしながら、当計画区間は最小幅員がW=5.5mと狭く死亡事故を含む交通事故が過去10年間で18件となっている。						
事業目的	バイパス整備による安全で円滑な交通の確保 ・線形改良及び幅員の確保による車両等通行の安全性等の向上 ・通過交通の排除による沿線住民及び通学路指定区間である現道の歩行者、自転車の安全性向上						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			全 体	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度以降
	事業費		1,300,000	50,000	100,000	150,000	1,000,000
	経費内訳	工事費	940,000			20,000	920,000
		用補費	250,000		40,000	130,000	80,000
		その他	110,000	50,000	60,000		
	財源内訳	国庫補助	910,000	35,000	70,000	105,000	700,000
		県 債	351,000	13,500	27,000	40,500	270,000
その他							
一般財源	39,000	1,500	3,000	4,500	30,000		
事業内容			測量、各種調査、詳細設計、用地測量	物件調査、用地補償	用地補償、本工事	用地補償、本工事	
調査経緯	平成22年度 道路概略設計 平成23年度 道路予備設計						
上位計画での位置付け	ふるさと秋田元気創造プランの「社会資本整備」を推進する事業						
関連プロジェクト等	国道108号瀬中石工区 災害復旧事業(H23) 国道108号道仏坂工区 雪寒事業(H19～H23)						
事業を取り巻く情勢の変化	国道108号は第二次緊急輸送道路として、地域防災計画上も重要な路線であるが、矢ノ本地区急傾斜地崩落危険区域内を通過している。 平成23年6月の豪雨で土砂崩落による全面通行止めが生じた。						
事業効率把握の手法	指 標 名	県管理国道改良率					
	指 標 式	改良済延長/路線実延長					
	指標の種類	成果指標	業績指標	低減指標の有無	有 無		
	目標値 a	93 %		データ等の出典	道路課調べ		
	達成値 b	94 %					
達成率 b/a	100 %		把握の時期	平成24年 4月			

2. 所管課の1次評価

観 点	評 価 の 内 容 (特 記 事 項)	評 価 点
必 要 性	最小幅員が5.5mと狭く、最急勾配も6%とつく、死亡事故2件を含む死傷事故が過去10年間で18件もあることから、安全性の確保が必要である。	27点
緊 急 性	当計画区間において、平成23年6月の豪雨で、土砂崩落が生じ約8時間の全面通行止めがあり、道路改良が必要である 第二次緊急輸送道路の機能を確保する必要があるが、線形不良、幅員狭小であり、死亡事故が発生しているといった状況であり早期改良が必要。	20点
有 効 性	通過交通がバイパスに流れることにより、現道の交通量が大幅に減少し、沿線住民や歩行者、自転車の安全性が向上する。 由利本荘市内の第二次医療施設である由利組合総合病院へのアクセスが改善し、救命救急体制が充実する。	14点
効 率 性	事業の費用便益は2.0であり効率性は高い。 ・総事業費の現在価値 13.0億円 ・総便益の現在価値 25.6億円 計画交通量は5,700台/日である。	20点
熟 度	由利本荘市から早期道路改良の要望書が提出されている。	10点
判 定	ランク ()	91点
	ランク であり、事業箇所としての優先度は高く、事業を実施すべきである。	
総 合 評 価	選定 改善して選定 保留 評価結果から事業箇所としての優先度は高く、事業を実施すべきである。	

3. 総合政策課長の2次評価

総合評価	選定 改善して選定 保留
	当該路線は、太平洋側から日本海を結ぶ重要な国道であるとともに、第二次緊急輸送道路としての位置づけもあるため、その機能の確保が求められている。 また、当計画区間は、線形不良、幅員狭小であり、交通の安全性確保の観点から、必要性及び緊急性は高く、事業実施という1次評価は妥当と判断される。

4. 財政課長意見

意見内容	選定 改善して選定 保留
	当該区間は、日本海側と太平洋側を結ぶ地域間交流を支える道路であるほか、病院等へのアクセス道路としても重要であるが、幅員狭小で、過去に交通事故発生箇所があり、事業実施の優先度は高い。バイパスの歩道を設置せず、補償費が過大となる現道の拡幅を避け、バイパスを採用した上で補償物件が少ないルートを選択するなどコスト縮減の観点からも妥当である。

5. 最終評価(新規箇所選定会議)

総合評価	選定 改善して選定 保留
	事業の実施は妥当である。

6. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

事業箇所を国に新規要望する。

7. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

評価種別 新規箇所評価

事業コード(H24-建-新-04)

適用基準名 道路改築事業(地域間交流・連携促進)

箇所名 (由利本荘市鳥海町矢ノ本)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要		
必要性	道路の現状の問題						
	道路構造上の欠陥箇所数	3箇所以上	17	17	2次改築事業については該当しない		
	・車道幅員 < 5.5m	2箇所	12				
	・最小半径 < 100m	1箇所	7				
	・最急勾配 > 5%						
	・冬期堆雪巾なし	0箇所	0				
	道路環境上の欠陥該当項目	5件該当	18			10	2次改築は配点36点 2次改築は配点28点 2次改築は配点20点 2次改築は配点12点 2次改築は配点6点
	・現道の混雑度 1.0	4件該当	14				
	・現道の旅行速度 30km/h	3件該当	10				
	・現道の事故率 50件	2件該当	6				
・通学路指定で歩道なし	1件該当	3					
・重大交通事故が発生	該当項目なし	0					
計			35	27			
緊急性	道路をとりまく環境等						
	関連事業の有無	県の主要プロジェクト等に該当	5	5			
	・県の主要プロジェクト	地域振興プロジェクトに該当	3				
	・地域振興プロジェクト	該当なし	0				
	・ほか整備等の他事業						
	市町村合併支援道路	位置づけあり	5	5			
	位置づけなし	0					
特有の課題の有無	あり	10	10				
老朽橋、災害危険箇所、冬期通行不能区間等	なし	0					
計			20	20			
有効性	道路の位置づけ						
	緊急輸送路	第1次輸送路	8	7			
		第2次輸送路	7				
		第3次輸送路	6				
		指定なし	0	7			
	救急医療施設へのアクセス	直接アクセスする	7				
	間接的に補完する	5					
	アクセスへの貢献は小さい	1	15	14			
効率性	事業の投資効果等						
	費用便益比(B/C)	1.0以上	10	10			
		1.0未満	0				
	計画交通量	5,000台/日以上	10	10			
		1,000台/日以上~5,000台/日未満	5				
	1,000台/日未満	0					
計			20	20			
熟度	地元の状況						
	地元ニーズ	文書要望あり	4	4			
		口頭要望あり	2				
		要望なし	0				
	地元の協力体制	地元の内諾	3	3			
		用地反対	0				
	地元への方針説明	あり	3	3			
	なし	0					
計			10	10			
合計			100	91			

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上		
	優先度が高い	60点以上~80点未満		
	優先度が低い	60点未満		